

ますはら

「神が望んでおられること」

「これこそ、キリスト・イエスにおいて 神があなたがたに望んでおられることです。」

(テサロニケの信徒への手紙一 第5章14～18節・新約聖書370頁)

はじめに

テサロニケの信徒はパウロが滞在した2～3週間のうちに信仰を持った者が多く、信仰生活もままならない状態で、迫害を受けることになりましたが、それに打ち勝ち、「信者の模範」と言われるようになりました。パウロが出した手紙から「失望に終わらぬ希望を持ち忍耐していたこと」「神の選びを確信し、信頼していたこと」「聖霊による喜びを持って御言葉を受け入れていたこと」がその要因であったことが分かります。そんなパウロは新たな信仰生活の目標を信徒たちに与えました。

パウロはフィリピの信徒に宛てた手紙にも、「目標を目指してひたすら走る」ことを勧めています(3:14)。私たちも「神の賞」を得るために、パウロの勧めを聞きたいと思います。

働き人を敬う

12節から始まるパウロの結びの言葉には、「あなたがたへのお願い」が列記されています。

まとめると、3つの事柄にまとめることができます。まず、働き人に対する態度です。

教会の政治形態は、各教派で考え方が違います。「長老派教会」は長老と呼ばれる数人が運営する「長老制」、「組合派教会」は信徒一人ひとりに強い権限があり、すべては信徒の投票によって決定する「組合制」という教会政治を行っています。メソジストから発生しているホーリネス教会はその成り立ちによって「監督制」を継承しています。教会の代表者を牧師、伝道者とし、活動する教会です。

この箇所をこの教会に当てはめるならば、信徒と牧師の関係となります。働き人はその生涯を神に献げたがゆえに、神の特別な力が与えられます。その神の人を重んじることにより、神の祝福がもたらされます。そうでなければモーセに反抗した子らの子たちのように祝福を失うのです。働き人を敬う子は教会の祝福、信徒自身の祝福になります。

信徒の交わり

次に勧められているのは信徒の交わりです。秩序を乱さず、互いに励まし、寛容であるようにとは、信徒同士が仲良くなるというわけではありません。人に頼ることになると必ず人間関係によってつまずきになります。神につながることで、神の恵みを分かち合い、それを表現する場として用いられていくのだという意味です。自分の信仰

3つ目は自分の信仰生活についてです。何を喜ぶのですか。3:8～9を見ると、「主にある」こと、「(信徒同士が)固く結ばれている」こと、つまり、自分が教会、キリストの体にしっかり連なっていることを喜ぶのです。絶えず祈るとは、常に自分と神との関係を密接にしていけることを指しています。そして、すべてが主のご計画であると信頼し、感謝を献げていくこと、そうするならば、神が望まれている姿になり、いよいよ祝福された信仰生活を送ることができるのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「きょうだいたち、あなたがたにお願いします。…彼らの働きを思って、心から愛し敬いなさい。…秩序を乱す者を戒め…気落ちしている者を励まし…弱者を助けなさい。すべての人に対して寛大でありなさい。誰も、悪をもって悪に報いることのないように気をつけなさい。互いに、またすべての人に対して、いつも善を行うよう努めなさい。いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて神があなたがたに望んでおられることです。」(テサロニ



ケの信徒への手紙一 5:12～18)

神さま、信仰があるかないかの私ですが、このような者にも目を留めてくださっていることを感謝します。この手紙で、自分がこれからの信仰生活に必要なことを知ることができました。まず働き人を敬うこと、そして信徒の交わりの中で、神さまのすばらしさを表現すること、そして自分の信仰をより主との交わりを深めるようにしていくこと。どうか、私が信徒の模範となり、されに祝福された信徒になれるようにしてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (78) 第4章6節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「知恵を捨てるな、それはあなたを守る。分別を愛せ、それはあなたを見守る。」

◎口語訳 「知恵を捨てるな、それはあなたを守る。それを愛せよ、それはあなたを保つ。」

◎新改訳 「知恵を捨てるな。それがあなたを守る。これを愛せ。これがあなたを保つ。」

「見守る」

知恵は自分の生き方を守ってくれる存在であり、分別を持つことで、自分の生き方を見守ってくれる存在を得ると教える箇所です。

「守る」と「見守る」の違いを確認しておきましょう。他の訳では「守る」と「保つ」と訳されています。英語訳では「protect」「preserve」「guard」「watch」「keep」などが「守る」でも「見守る」にも使われていることから、あまり区別をしなくてもいいのかもしれませんが、原意を捉えていた方がより深く理解できると思います。

まず「守る」ですが、カインがアベルを殺した際、神から「あなたの弟アベルは、どこにいるのか」と問われ、「知りません。私は弟の番人でしょうか」と答えている場面があります(創世記 4:9)。原語を直訳すると、「あなたの弟アベルを守ったのか?」「私は弟の守り人なのですか」となります。つまり、守るとは、敵からの攻撃、

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

また危害が及ばないように番をするという意味があります。いうなればボディガードの役割、これが知恵の働きです。

「見守る」はどうでしょう。この語はあまり使われていないのですが、列王記下に城壁の一部となる「見張りの塔」の「見張り」に使われています(17:9, 18:8)。ヨブ記では「人を見張る」(7:20)とあって、この用い方を考えると、その距離感の違いがあるように思います。「守る」は至近距離で、「見守る」は鳥瞰的に、です。鉄壁の守りを身に着けたいものです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

列王記下第1章14節「どうか、私の命をあなたの目に尊いものとしてください。」◆なぜ先に送られた2人の50人隊長は焼き尽くされたのか。彼らはエリヤを「神の人」とは呼んではいないもの、おそらく不遜な態度で臨んでいたからだと思われる。王は自分の死を預言した預言者を呼び、強制的にでも言葉を曲げて、自分に都合の良い内容に変えさせようとしたに違いない。その態度が部下にも伝わったのだ。しかし3人目は神の人の前、それはすなわち神の前に謙虚な姿勢でたからこそ、命を長らえたのだ。

●賛美 / 452 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

列王記下第2章9節「どうかあなたの霊の二倍の分け前をくださいますように」◆エリヤはエリヤの後継者として立てられた器である。それはエリヤの働きに対する敬意から始まった。主に用いられたいの祈りが生まれ、そしてエリヤのすべてを模範にし、そのわざを引き継ぎたいとの切願を生じさせた。だから、彼はエリヤのあとを追いつけたのだ。そして最後に、「何なりと」との言葉に促され、正式な遺産相続権を意味する「霊の二倍の分け前」を願う。私たちも、このような熱心をもって、歴代の聖徒のような働きをさせてくださいと願うべきだ。

●賛美 / 453 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

列王記下第3章12節「ヨシャファトが、『彼には主の言葉があります』と言ったので、…エリヤのもとへと下って行った。」◆列王記を調べると、エリヤはエリヤのした同じような奇跡だけでなく、エリヤよりも多くのわざが記録されている。主からエリヤの後継者として認められていた証拠だ。エリヤ、そしてエリヤの活動時期は、北イスラエル王国の歴史の中でも最も神信仰が衰えた時代だった。その時代にエリヤがすばらしい働きをなし続けられたのは、「主の言葉」が常に臨んでいたからだ。主に用いられる人はどんな境遇でも御言葉を離さない。

●賛美 / 454 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

列王記下第4章30節「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」◆この章にはエリシヤを通してなされたみわざがいくつも紹介されているが、特に未亡人家庭になされたわざは憐れみに満ちている。そして、そのわざを引き出した女性の信仰が光る。杖を預かっただけでも、ありがとうございますと引き下がりそうなものだが、彼女はエリシヤが来てくれなければだめだと言った。祈りは途中であきらめてはならない。それは自分の信仰が問われることになるからだ。信じ抜き、求め続けることが大切である。

●賛美／455 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

列王記下第5章14節「ナアマンは下って行き、神の人の言葉どおり、ヨルダン川に七度身を浸した。すると、その体は、少年の体のように清くなった。」◆ナアマンの周りには心配する人たちがたくさんいた。彼は那些人々に支えられて、病気がいやされたのである。アラム王は敵国の王に頭を下げた。奴隷の少女はエリシヤを紹介し、妻は少女の言葉を信じて、それを伝えた。川に入ることをよしとしないナアマンを説得したのは彼の部下だった。そのように、私たちのまわりにも、とりなしてくれている人がいることを覚えよう。あなたは一人ではない。

●賛美／456 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

列王記下第6章17節「主よ、どうかこの男の目を開き、見えるようにしてください」◆私たちは現実にあわてふためくことがある。この時、アラム王は、エリシヤだけを討つ目的で大軍を派遣した。エリシヤに仕えていた若者がうろたえたのは当然だろう。ところが、エリシヤは言った。「囲んでいる敵よりも、私を守ってくれる味方がよほど多いんだぞ」。確かに押しつぶされそうになることがある。だが、その時、「どうぞ私の目を開いてください」と祈ろう。「万軍の主、神が私たちの味方であるのだから、恐れることはない」との信仰が与えられる。

●賛美／457 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

列王記下第7章2節「主が天に窓を造られたとしても、そんなことはありえない」◆サムリヤがアラム軍に囲まれ、兵糧攻めにあって城内では悲惨な光景も目にするようになっていた。その時エリシヤが「明日、何事もなかったように日常の生活が戻ってくる」と預言した。だが、王の介添えをしていた侍従は信じられず、「そんなことはありえない」と断言してしまった。確かに、人が判断すればあり得ないことだが、神は神であるからこそ、できないことはない。神を神とも思わないような言葉を口にした彼は、その恵みに預かることはできず、死んでしまった。

●賛美／458 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ルカによるふくいんしよ 15:11～32】

「いなくなった むすこ」

(ヨハネのてがみ一 4:16)

イエスさまは 3つの「なくなったもの」のたとえをなしてされました。

さいしよは 100ぴきいた ひつじのうち、1ぴきが いなくなってしまう、ひつじかいが その1ぴきを たいせつにおもって さがしだす おはなしでした。

にばんめは、10まいの ぎんかのうち、1まいなくなってしまう、それを さがしだす おはなしです。

みつめは、いなくなってしまった むすこの おはなしです。

ふたりの むすこのうち、おとうとが おとうさんに いいました。「わたしに ざいさんを わけてください。あとでもらうより、いま もらって、じょうずに しょうばいをしたいとおもいます」。おとうさんからもらった ざいさんをもって、むすこは まちにでました。いろい

ろな ことをかながえました。どんな しょうばいを しょうかなとかながえて いろいろなひとと あっているうちに、ともだちができたのですが、みんなに ごちそうをしていたら、いつのまにか、もらったざいさんが ほとんどなくなってしまっていたのです。それをきいた ともだちは いつのまにか いなくなってしまう、たすけることも してくれず、たべることも できなくなって、きたないしごとを するしかありませんでした。

みじめな まいにちを すごしていたとき、「このままだったら、しんでしまう。おとうさんにおねがいして、やといにんでいいから、やとってもらおう」とかながえ、いえにかえることにしました。

いえのちかくまでくると、おとうさんが、かけよってむかえてくれました。まいにち、かえてくるのを まっていたのです。

かみさまは、そのようにして、かみさまからはなれて いなくなっているひとを まっておられるのです。

●かながえてみよう

☆むすこは おとうさんになんといつて いえを でていきましたか(ルカ 15:12)

☆むすこは ざいさんを たいせつにつかったのでしょうか。(ルカ 15:13)

☆いえに かえった むすこは どのように あつかわれきましたか。(ルカ 15:24)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

さいさんのわけまえ

ま			ざ			わ	さ	
	え	の		さ	ま		ん	け
		け	の		わ	え	ま	い
	ま			え	け	の	わ	
け	わ	さ			の		え	ま
ざ			わ			さ		
				い		け		え
				わ				
			け		ざ			

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

（サムエル記下5章）

- ① ひいきどきん
- ② たのぶせわ
- ③ にくといお
- ④ だいしん

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「虫の声」

NHKで放映している「チコちゃんに叱られる！」を時々見ています。先日の番組の内容では、あらためて「神さまって、すごいなあ」と思わされました。「虫の声がなぜ心地よく聞こえるのか」という話題でしたが、答えられますか？「和音になっているから」なのです。よくハモるといいますが、単音だと淡泊ですが、その曲の流れに合わせて別の音を加えると、より深く、味わいが出てきます。ただ、その音は、主旋律と仲の良い音でなければ、かえって

騒がしく、落ち着かなくなってしまう。和音とは、それぞれの音を生かすための音を重ねることをいいます。「ドミソ」などをはじめ多くの和音があるのですが、秋になると聞こえてくるさまざまな虫の音は、不思議なことに不協和音ではなく、「和音」になっているから、心地よく聞こえるのだそうです。

鳴く虫は、何種類もいますが、それぞれの虫が自分たちの種を区別し、棲み分けをするために、環境に合わせて整えられていったと考えられ、日本以外にいる外来種を鳴かせてみると、確かに濁った違和感があるのです。日本で育った虫たちは、長い間に、それぞれの声の高低も含めて調整し、すばらしいオーケストラになったのです。虫たちにもこのような能力を持たせた創造のわざ、すごいです。

聖書ふれあい街歩き

●アヤロンの谷

ぎベ音との「安保条約」の関係で、ヨシユアはアモリ人の5人の王たちと戦います。戦闘の場所はエルサレムの北西にあるギベオンの西に続く山地、現在のエルサレムとテルアビブの間あたりですが、そこにアヤロンの谷があります。月が上らないように、深い谷にとどめてくださいと願った場面で登場しています。

この谷は、フェニキア、メソポタミアから地中海沿岸に抜け、エジプトに至る通り道で、古代から交通の要衝となっていましたので、数多くの戦闘もまたこの場所で繰り返されていたと思います。

このヨシユア記に出てくるアモリ人の5人の王（エルサレム、ヘブロン、ヤルムト、ラキシユ、エグロン）との戦いは、敗走する王たちがアヤロンの谷へと逃げていったことが分かります。

サウル王の時代には、ヨナタンがペリシテ人を攻撃した後、「ペリシテ人をミクマスからアヤロンまで追撃した」（サムエル記上 14:31）とあり、アヤロンの谷で敵を追い詰めたことがわかりますし、レハブアム王の時代には、エジプトからの侵入に備えて、「砦の町」つまり要塞都市を造っていますが、その中にアヤロンが含まれています（歴代誌下 11:10）。

ななめ聖書 先週のこたえ

じ	つ	を	れ	そ	す	こ	う	る
る	そ	れ	こ	つ	う	じ	す	を
す	こ	う	じ	る	を	つ	れ	そ
れ	を	る	つ	こ	じ	す	そ	う
そ	う	つ	を	す	る	れ	じ	こ
こ	す	じ	う	れ	そ	る	を	つ
つ	じ	こ	そ	を	れ	う	る	す
を	れ	す	る	う	つ	そ	こ	じ
う	る	そ	す	じ	こ	を	つ	れ

- ① ぎんかにまい
- ② はんたいがわ
- ③ せんもんか
- ④ きのどく



エフェソからマケドニアへ

この騒動が収まった後、パウロは弟子たちを呼び集めて励まし、別れを告げてからマケドニア州へと出発した。

そして、この地方を巡り歩き、言葉を尽くして人々を励ました後、ギリシアに来て、そこで三か月間過ごした。

パウロは、シリア州へと船出しようとしていたとき、彼に対するユダヤ人の陰謀が起こったので、マケドニア州を通して帰ることにした。

同行した者は、ピロの子でベレア出身のソパトロ、テサロニケのアリスタルコとセクンド、デルベのガイオ、テモテ、それにアジア州出身のティキコとトロフィモであった。

(使徒言行録20:1~4)



働き人は各地からパウロのもとに集まった

【同行した者 2】

パウロに同行した弟子を紹介しています。

先回紹介した3人に簡単に触れると、ソパトロは父親が熱心の信徒だった、アリスタルコはパウロのローマ行きにも付き添っていた人物、セクンドは下層階級出身者と思われるのですが、身分の違いを超えてアリスタルコとコンビで活躍していたと思われます。

●ガイオ

ガイオの出身地デルベは、現在のトルコ南部、リカオニア州の町で、パウロが第一次伝道旅行で訪れた町の一つです。リストラでひん死の重傷を負ったパウロが翌日向かい、伝道の末に「多くの人を弟子にした」(使徒14:20~21) 場所です。

恐らく、ガイオもその時の伝道で信仰を持ったのでしょう。実は「ガイオ」という名の人物は新約聖書に複数登場します。コリントから書いたローマの信徒への手紙に出てくるガイオ(ローマ16:23)は「全教会の家主」なので、コリント人だと考えられます。エフェソのデメトリオ事件に出てくるガイオはマケドニア人(使徒19:29)。この二人は同一人物ではないと言えるのですが、ヨハネの手紙三に登場する「愛するガイオ」(1:1)ははっきりとはわかりません。ガイオという名は、当時、かなり一般的だったのです。

この箇所でも、同行の目的の一つに、エルサレムに献金を届けることがありましたが、誰でも良いという役割ではないので、各地の教会の代表が同行していたと思いますので、ガイオもデルベを代表していたと考えて良いでしょう。

●テモテ

テモテについては、パウロの伝道旅行の初めか

ら同行しており、すでに紹介済みなのでここでは省略します。

●ティキコ

ティキコはアジア州出身(おそらくエフェソ周辺)の信徒です。パウロが残した手紙にはティキコがたびたび登場します。どうも、手紙を届ける機会が多かったようです。例えば、エフェソの信徒への手紙では、「私がどのような様子か、何をしているか、あなたがたにも知ってもらうために、ティキコがすべて報告する」(6:21)、コロサイの信徒への手紙にも「私の様子については、ティキコがすべてあなたがたに知らせる」(4:7)、テモテへの手紙二「ティキコをエフェソに遣わしました」(4:12)、テスへの手紙「ティキコをあなたのもとへ遣わしたら」(3:12)といった具合です。パウロの置かれている状況を理解し、伝えることができたのは、常にパウロの元にくいたことの証拠ですし、そのような人物だからこそ、パウロに信頼され、名代として各教会へのメッセージを伝える役割を担っていたことがわかります。

●トロフィモ

ティキコ同様、アジア州(エフェソ)出身のトロフィモは、パウロと共にエルサレムへ向かいます。パウロは請願を立てた4人を連れて神殿に入るのですが、トロフィモと一緒にいたことで誤解を受け、「ギリシア人を神殿に連れ込んで汚した」と訴えられ(使徒21:29)、裁判へと発展していくのですが、彼がパウロの近くにいる、忠実に仕えていたことがわかる場面です。その後、「トロフィモは病気だったので、ミレトス(エフェソ近郊)に残しました」(テモテニ4:20)と出てくるので、最後は病気で離脱したと思われる。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

